

一般質問

市政のついで問

この定例会では、9月3日・4日・8日の3日間で13人が登壇し、26項目にわたり、市政について一般質問が行われました。主な項目について要約し、掲載します。

質問項目（発言順）※：掲載した項目

- 蜂須賀 信明 議員**
 - 刈谷市の防災・減災対策について
 - 耐震診断の状況について
 - 避難所運営について
- 大山 実 議員**
 - P.T.A.について
 - 小中学校の安全対策について
- 谷口 睦生 議員**
 - 多文化共生社会の実現について
- 鈴木 絹男 議員**
 - 市道側溝蓋（ふた）整備について
- 稲垣 雅弘 議員**
 - 望まない受動喫煙対策の推進について
- 森島 公祐 議員**
 - 学校と地域の連携について
- 新海 真規 議員**
 - 刈谷市子ども計画について
 - 職員の週休3日制について
- 外山 鉦一 議員**
 - 亀城公園お堀池水質浄化対策について
 - 小中学校の主な取組について
- 山本 シモ子 議員**
 - 市内福祉巡回バスは無料で継続するについて
 - 刈谷駅北口のウイングデッキ整備について
 - 平和事業について
 - 下水道整備について
- 佐々木 隆教 議員**
 - 災害情報の市民への早期発信手法について
 - 学校における課題について

質問・答弁がホームページから映像で御覧になれます。
「刈谷市議会」で検索し、「議会映像を見る」をクリックしてください。



蜂須賀 信明 議員
南海トラフ大地震に備え、迅速な対応を!!

問 一時避難所となる街区公園において、夜間災害時に停電が起きた場合に備え、安全確保のためにソーラー照明を設置するべきと考えるがどうか。

答 本市では、公園に設置したマンホールトイレを災害時に安心して利用できるよう、11か所の公園にソーラー照明を整備している。市内全ての公園や広場に新たに防災用照明を整備することは困難だが、今後、既存の園内灯を更新する際には、防災部局と連携し、地域の実情を踏まえながら、ソーラー照明など防災機能の付加について検討していく。

大山 実 議員
P.T.A.を保護者が参加しやすくなるような組織にしていけるべき!!

問 P.T.A.はどのような組織で、どのような役割を持つのか。

答 P.T.A.は、子供たちの健全な成長と教育環境の充実を旨とし、学校と家庭が協力する組織である。学校行事や教育活動への支援、地域コミュニティの形成、家庭と学校の連携の促進など、子供たちを育む環境を支えているものと考えている。

問 P.T.Aへの加入は任意であると聞けるが、加入しないと問題はあるのか。

答 加入しないことで、直接子供の活動に支障があるわけではないが、保護者と学校が協力して子供たちをサポートする活動は減る。

谷口 睦生 議員
違いを認め合い誰もが安心して暮らせる多文化共生のまちづくりを!!

問 外国人への誤解等を解消し、文化を尊重し合う取組はどのようにか。

答 第2次多文化共生推進計画

因になると考えている。また、学校と地域の連携を強化するため、体育館や校庭を学校と地域の共同管理という形にし、運動の機会を得られるようにしたいと考えている。一方で、文化的な新しい取組として小学校で始まった音楽教室における対象学年や

新海 真規 議員
職員の週休3日制の導入は慎重に検討するべき!!

問 愛知県が導入する週休3日制の方針や内容はどのようなか。

答 4週間単位の総勤務時間数は維持しつつ、1日の勤務時間を柔軟に配分することができるとのこととしており、配分によって週休3日という働き方を選択できるというものである。

問 週休3日制のメリット・デメリットはどのようなか。

答 職員のワーク・ライフ・バランスを向上させ、職員の通勤ストレスの軽減や残業時間の削減が期待できるほか、離職防止や人材確保に繋がるなどのメリットがある一方、勤怠管理の複雑化や職場内でのコミュニケーションの不足、また従事する業務によって制度を利用できない不公平感が出るなどのデメリットが考えられる。

問 週休3日制の導入にあ

問 3年前に導入した地域学校協働活動の成果はどのようなか。

答 様々な活動場面で見守ってもらえている安心感や地域の一員としての自覚や地域への愛着を深める機会となっている。また、自己有用感が高まることも、人を思いやる心の醸成に

外山 鉦一 議員
これからも輝き続ける学校づくりの取組を!!

問 全国学力・学習状況調査の結果概要はどのようなか。

答 令和3年度から7年度までの直近5年間では、小中学校のいずれも平均正答率が全国を

画に基づき、国籍にかかわらず全ての人が尊重され、交流や協働がひろがるまち刈谷を目指した取組を推進している。日本語が話せない外国人を対象とする日本語教室や外国人を講師とした市内の小中学校や高校へ派遣するワールドスタディ講座を開催しているほか、多文化交流フェスタなどのイベントや国籍等に関係なく多様な人々が集まり野菜づくりに取り組むワールド・スマイル・ガーデン・ツツ木などの活動を支援している。

問 アジア・アジアパラ競技大会に向けた国際理解等の活動はどのようにか。

答 7月に開催された2025ジャパンパラ車いすラグビー競技大会では放課後児童クラブ



誰もが安心して暮らせる地域社会の実現を

鈴木 絹男 議員
市道側溝蓋の整備に新基準の設置を!!

問 側溝の蓋設置についての考え方はどのようなか。

答 道路側溝蓋設置基準に基づき判断している。本基準では、側溝の新設や入替工事を実施する際は同時に蓋を設置する、また、既設の側溝では小中学校の通学路や道路幅員が狭い場合などに蓋を設置するとしている。

問 側溝の蓋や側溝整備に関して地区の要望を優先し過ぎず、市が基準を設けてプロとして優先順位を判断し、責任を果たしてほしい。それにより公平性や透明性、整備に対する客観性が担保され、より信頼ある本市の美化が進む。整備の優先順位に

稲垣 雅弘 議員
望まない受動喫煙を防止し、誰もが心地よい環境の整備を!!

問 健康増進法を目指す社会はどのようにか。

答 全ての人々が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会

山本 シモ子 議員
刈谷駅北口ウイングデッキは誰のための整備か!!

問 刈谷駅の南北を連絡するコンコースから桜町交差点までウイングデッキを延伸する大きな工事だが、整備主体はどこか。

答 桜町交差点の県道を横断する歩道橋の事業主体は愛知県、残りの刈谷駅北口の既設デッキから横断歩道橋までの歩行者デッキの事業主体は刈谷市である。

問 桜町交差点の地下道は暗い、怖いなどの声があるが、老朽化の状況と今後の課題はどのようなか。

答 愛知県に確認すると、5年ごとに点検を実施している。直近では令和4年に点検し、特に問題などは確認されていない。

問 公職選挙法で市議会議員は寄附や年賀状などを出すことが禁止されています。禁止されている寄附の主なものは左記のとおりです。

